学校番号	3001

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	１年次男子
使用教科書	なし						
副教材等	イラストでみる最新スポーツルール 2019　（大修館書店出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目を通じて、能力に応じた基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を身につけよう。
・自他の運動を観察し、身体活動に対する興味・関心を高め、運動の楽しさや喜びを心身で感じよう。
・体育の授業を通して、スポーツとの様々な関わり方を理解し、自身のスポーツライフに関して考えよう。

２ 学習の到達目標

・健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続できるように、スポーツと自身の生活を多面的に捉え、実生活へと取り入れられるようになる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動を楽しもうとしている。 学習に主体的に取り組み、健康や安全に留意する。 自他の技能を客観的に判断し、他者と協力して技能を伸ばそうとしている。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 運動の課題に応じて、他者の意見等を取り入れ、自身の動作に取り入れることができる。 運動を継続し、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。	記録や技能向上のための取り組みを行う。 ゲームや試合を通じて、仲間と勝敗を競う喜びを実感できる。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 各スポーツの特性に関して、理解することができる。
評価方法	授業態度の観察 等	授業態度の観察 等	技能観察 授業態度の観察 等	授業態度の観察 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動 体つくり運動	オリエンテーション 集団行動 新体力テスト	○	○		○	a:集団での自身の役割を理解し、周囲と協力した取り組みを行い、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:集団行動の基本的な動作、スポーツテストの各種目の計測方法等を正しく理解し実践している。	受講態度の観察 技能観察
	球技 ゴール型 ベースボール型	ゴール型 バスケットボール ベースボール型 ソフトボール	○		○	○	a:バスケットボールを理解しようとし、自らが実践するという当事者意識を持って取り組んでいる。 c:パス、ドリブル、シュート等ゲームのための基本技能を習得し、実際のプレーに取り入れている。 d:安全かつ適切に試合を楽しむことができるように、バスケットボールのルールを理解している。	授業態度の観察 技能観察
2学期	水泳	水泳 クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a:浮力を利用して水中で身体を動かす楽しさを体感し、安全に水中運動を実施するように努めている。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察

	球技 ゴール型 ベースボール型 ネット型	ゴール型 バスケットボール ベースボール型 ソフトボール ネット型 卓球	○	○	○		a:チームの仲間と協力し、課題の解決に取り組もうとすると同時に、各球技の特性を理解し、安全に留意した活動を行っている。 b:技能の段階に応じて、取り組むべき課題や、必要な練習方法を考え実践しようとしている。 C:個人としての技能を向上させて、チーム内での連携や、場面に応じて適切な技能を実施できている。	授業態度の観察 技能観察
3学期	陸上競技	陸上競技 長距離走	○	○	○	○	a:自身の能力にあった目標を設定し、課題を克服することにより、その達成へと結び付けられるように、積極的に取り組んでいる。 b:生涯を通じた運動習慣、健康の維持増進という意識を持ち計画的に取り組むことができている。 c:自らの技能にあったペースを理解し、適切な走方法で走ることができている。 d:長距離走の特性や意義を理解し、ストライド走法、ピッチ走法等の各技能の理解ができている。	受講態度の観察 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。